

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー	ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	カジディーラー(マフィア幹部)
	ブラム=ストーカー		年齢	???(外見17)	性別
オプション					
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	44 %
出自	名家の生まれ	経験	喪失	邂逅	再会

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	0	1	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き猟銃+破壊の血(99↓)	射撃	4r+4		33		HPを7点失う
赫き猟銃+破壊の血(100↑)	射撃	4r+4		38		HPを8点失う

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
転生者	P 友情	N 食傷			
かつての親友	P 幸福感	N 罪悪感			
PC③	P 親近感	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー				-	
効果:								
滅びの一矢	1	2	メジャー				-	
効果:								
紅の王	2		常時					ピュア
効果:								
赫き猟銃	7	3	マイナー					
効果:								
破壊の血	5	3	マイナー					
効果:								
滅びの遺伝子	5	6	オート					ピュア
効果:								
ヒューマンズネイバー	1		オート					120↑
効果:								
オリジン:ヒューマン	1	2						
効果:								
ヨモツヘグリ(転生者)	1	10	メジャー					100↑
効果:								
瀉血	★							
効果: 常に美しく、若々しく。								
かしく歯車	★							
効果: 舞うような足取り、華麗なカード捌き。								
血の兄弟	★							
効果: "ファミリー"の証。								
効果:								

PC③の父の大叔母であり、後天的なレネゲイドビーイング。今はディーラー兼UGNイリヤルとして支部(カジノ)で働いている。束縛を嫌う本人の意向により、エージェントではなくイリヤルとして登録されている。賭け事とゲーム、スリルを何より愛する人間。「途中でどれだけ負けよう、最後に勝っていれば勝ち」が信条で、自分が払えるものは何でもゲームのテーブルに乗せられると思っている。命さえも。

「死ななければ負けではない」という信条もあるが、それが"命を賭けない"ことには繋がらないのが難点。勝ちさえすれば良いと思っている。なお、本来はゲームを進行するより参加する方が好き。今の仕事は天職だと考えつつ、常に物足りなさを感じている。しかし人間をやめる原因となった賭けで、賭けるつもりのなかった親友の命を失ってしまい、昔のような無茶なゲームはできなくなった。

自分のために命を賭ける人間がいると知っていたら、あんなゲームには乗らなかったのに。(あなたの命まで賭けるつもりはなかったのに)

【人間をやめた話】
第二次世界大戦直後、アメリカの生まれ。唯一の親友だったオーヴァードによって死の淵から呼び戻され、レネゲイドビーイングとして生きることになった。その際、彼女を蘇生するため命を投げ出した親友の記憶を引き継いだ。親友の記憶は幻覚として時々彼女の前に現れる。言うことは大抵、「無茶をしないで」か「もっと命を大事にして」だ。ごくたまに、彼女の方から親友の記憶を覗き見ることもある。「あなた、あの時こんなこと考えてたの?」

【PC②について】
死んでしまったファミリーの子。弟もしくは親戚の子どものような感覚で可愛がっている(本人比)。